

三和区

『第59号 2026.03』

地域協議会だより

発行：三和区地域協議会

編集責任者：三和区地域協議会

会長 高橋 鉄雄

編集委員：龍池 麻耶

茂木 知絵

渡邊 正芳

事務局：三和区総合事務所

(総務・地域振興グループ)

TEL 025-532-2323

FAX 025-532-2623

sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

令和7年度三和区地域協議会活動報告

地域協議会では、市長から意見を求められた案件について話し合い意見を返す「諮問・答申」などのほか、地域の課題解決・活性化に向けた「自主的な審議」に取り組み、令和8年度地域独自の予算事業「三和まるごと味覚祭事業」の提案につなげました。（※令和8年度予算は、令和8年第2回（3月）上越市議会定例会での議決をもって成立します。）

また、区内の皆様幅広く参加を呼びかけて、地域づくりをテーマとした講演会を2回開催しました。

月	主な活動内容
4月	○第1回地域協議会 [報告事項] 廃校利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の実施について [自主的な審議] 自主的な審議事項について ○第1回勉強会
5月	○委員研修会 地域自治推進プロジェクトの制度設計に向けた意見交換会
6月	○第2回地域協議会 [報告事項] 農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について ○第2回勉強会 ○持続可能な地域づくりをテーマとした講演会 「上越市及び三和区の持続可能な地域づくりについて：上越市創造行政研究所」
7月	○第3回地域協議会 [報告事項] 廃校施設の利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の結果について [自主的な審議] 三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について [自主的な審議] 地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて ○第3回勉強会
8月	○第4回地域協議会 [自主的な審議] 三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について ○第4回勉強会
9月	○第5回地域協議会 [報告事項] 公の施設の使用料等の見直しについて [報告事項] 路線バス「直江津・浦川原線」のダイヤ改正について

	<p>[報告事項] 地域協議会による「令和 8 年度地域独自の予算事業を活用したい取組『三和まるごと味覚祭』」の提案について</p> <p>[協議事項] 地域協議会主催による地域づくりをテーマとした講演会の開催について</p> <p>○第 5 回勉強会</p>
10 月	<p>○第 6 回地域協議会</p> <p>[報告事項] 過疎地域持続的発展計画策定の事前説明について</p> <p>○第 6 回勉強会</p>
11 月	<p>○第 7 回地域協議会</p> <p>[諮問事項] 上越市過疎地域持続的発展計画（案）について</p> <p>○第 7 回勉強会</p> <p>○地域協議会だより発行（第 58 号）</p> <p>○地域づくりをテーマとした講演会 「熱意と行動が地域にきっかけを与える：益子 泉 様」</p>
1 月	<p>○第 8 回地域協議会</p> <p>[報告事項] 上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について</p> <p>○第 8 回勉強会</p>
2 月	<p>○第 9 回地域協議会</p> <p>[報告事項] 地域独自の予算事業の一覧について</p> <p>○第 9 回勉強会</p>
3 月	<p>○第 10 回地域協議会</p> <p>[報告事項] 上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について</p> <p>[報告事項] 令和 8 年度三和区における主な事業について</p> <p>[自主的な審議] 三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について</p> <p>[自主的な審議] 地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて</p> <p>○第 10 回勉強会</p> <p>○地域協議会だより発行（第 59 号）</p>

三和中学校の山川教諭を講師に勉強会

1 月に開催した勉強会では、令和 6 年度地域独自の予算事業「上沼道開通を見据えた三和区魅力発信事業」の実施にご尽力いただいた中学校の山川教諭を講師に迎え、生徒を導いた立場から取組の様子や成果・課題等についてお聞かせいただき、意見交換を行いました。

オニバスの紫色を活かして、色に着目した地域づくりの提案など、講演を通して新たな気づきを得ることができました。



▲三和中学校の山川教諭による講演

編集後記

地域協議会だよりをお読みいただきありがとうございます。
現在の委員は、令和 6 年 4 月に任命されましたので、任期 4 年の約半分が過ぎ去ろうとしています。年を重ねるとともに、ときの早さを強く感ずる今日この頃ですが、市からの諮問等と、地域の課題解決の二輪車で残りの期間を走り続けたいと思っています。

編集委員 渡邊 正芳